

生徒指導・進路指導総合推進事業

事業実施計画書

(阿南市)教育委員会

1 事業内容等

(1) 選択テーマ

小・中学校における体系的・一貫的な職場体験活動の実施に関する取組

(2) テーマを選択した背景

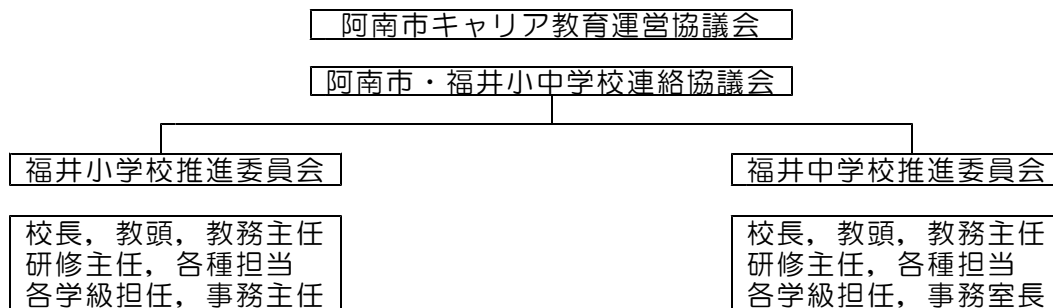
社会環境の変化に伴い、子どもたちが自分の将来に役立つ理想の大人のモデルを見つけにくく、自らの将来に向けて、希望あふれる夢を描きにくくなっている。また、子どもたちの心身の発達にも影響を与え始めている。人間関係がうまくつけれない、自分で意見決定できない、自己肯定感がもてない、将来に希望を持つことができない子どもの増加などが指摘されてきている。

そこで、子どもが自分の確固とした勤労観・職業観をもち、自らの力で生き方を選択していくことができるよう必要な能力・態度を身に付けることが大切である。つまり、キャリア教育の推進することが大切である。

平成18年度から4年間取り組んだ、小中一貫教育の研究の成果を生かした体系的・一貫的なキャリア教育を進めることにより、生徒指導・進路指導を効果的に実施できると考える。

(3) 事業の内容

- ① 福井小中学校で育成すべき能力・態度の明確な把握とその焦点化
(具体的な内容についての共通理解)
- ② 小中学校9年間を見据えた教育目標の設定、活動内容や計画の作成
- ③ 推進組織体制



④ 概要

就学前	小学校	中学校	高等学校	大学・専門学校・社会人
	キャリア発達段階			
	進路の探索・選択にかか る基盤形成の時期	現実探索と 暫定的選択の時期		
	<ul style="list-style-type: none"> ・自己及び他者への積極 的関心の形成・発展 ・身のまわりの仕事や環 境へ関心・意欲の向上 ・夢や希望、憧れる自己 のイメージの獲得 ・勤労を重んじ目標に向 かって努力する態度の 育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・肯定的自己理解と自己 有用感の獲得 ・興味・関心等に基づく 勤労観・職業観の形成 ・進路計画の立案と暫定 的選択 ・生き方や進路に関する 現実的探索 	省略	

(4) 事業により見込まれる成果及び評価・検証方法

期待される成果としては、次のような点が望まれる。

- ①キャリア教育に取り組むことによって、学校教育が目指す、子どもの全人的成長・発達を促す。
- ②キャリア教育を通して、子どもたちは自らの将来について夢やあこがれをもったり、学ぶ意義を理解したりする。
- ③キャリア教育は、学校教育が求められている課題、人間関係づくり、不登校、学力向上、地域連携、体験活動などさまざまな課題の解決の活路を開く。
検証方法については、子どもや教師のアンケートやチェックなどを使って、評価していく。

(5) その他

2 事業実施計画

時 期	内 容	備 考
4月下旬	第1回福井小中学校連絡協議会（福井中学校） 昨年度の取組及び本年度事業について計画立案，共通理解等。	参加者7人 小中教職員・市教委
6月中旬	第1回運営協議会（阿南市役所） 調査研究年間計画についての協議，検討。 校内研修で共通理解を図る。	参加者24人 運営協議会委員 小中で
5月 ～11月	福井小学校の職場見学	小学1年～5年
8月下旬	福井中学校の職場体験（阿南市内）	福井中学校3年
10月中旬	福井中学校の職場体験（阿南市内） 職場体験の中間協議 第2回福井小中学校連絡協議会（福井中学校）	福井中学校2年
11月下旬	職場見学・職場体験の実施の成果と反省 今後の調査の予定・計画について確認等	参加者7人程度 小中教職員・市教委
2月中旬	第2回運営協議会（阿南市役所）	参加者24人 運営協議会委員

3 これまでの取組実績及び成果

小学校においては、生活科や総合的な学習の時間、学級活動の中で、日頃からキャリア教育に視点に立った取組を行い、働くことの意義や自分の将来に向けての希望が夢が持てるようになってきつつある。

また、中学校においても今までの取組「先人の生き方に学ぶ交流会」では、地元や地元出身の方々からいろいろな体験や経験の聞き取りにより、希望やあこがれを持ち、将来への展望が持て進路決定ができてきている。